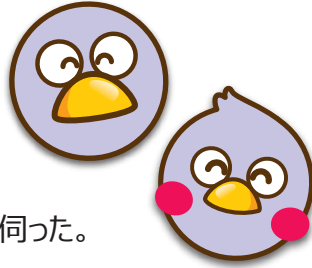


民生委員・児童委員の活動

～ある委員の1か月の活動から～



相談・支援活動

- ひとり暮らしの高齢者宅を訪問した。健康状態や困りごとがないか伺った。
- 障害者が利用できる福祉サービスについて相談があったので、行政に連絡してつないだ。
- 子育て支援センターから見守りを依頼されている家庭を訪問して不安などを聞いた。

地域福祉活動

- 災害福祉マップづくりに参加し、実際に地域を回ってみた。
- 小学校の通学時間にあわせて見守りを兼ねたあいさつ運動に参加した。
- 高齢者に熱中症予防の声かけを行った。

その他の活動

- 民生委員・児童委員協議会の定例会に出席し、地域課題の共有や地域福祉行事の役割決めなどを行った。見守り活動の実施についても話し合った。
- 地区の民生委員・児童委員研修会に参加した。委員同士が情報交換を行い、活動の参考になった。



定例会の様子（熊谷市）



民生委員に関することは
お住まいの市町村
福祉担当課へ
お問い合わせください

メモ

杉戸町福祉課
〒345-8502 杉戸町清地2-9-29
TEL: 0480-33-1111
FAX: 0480-33-4561
メール: fukushi@town.sugito.lg.jp

埼玉県福祉部社会福祉課（県の担当課）

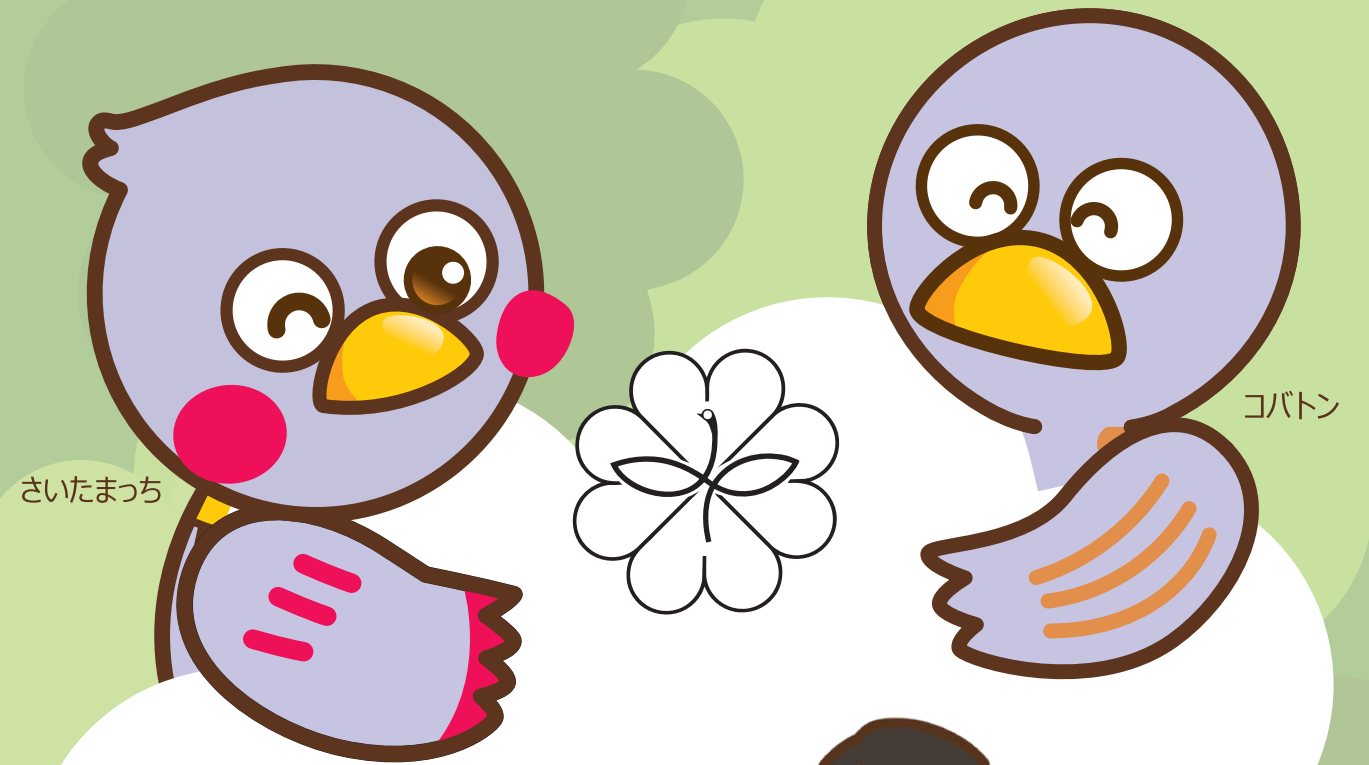
（一財）埼玉県民生委員・児童委員協議会

〒330-9301 さいたま市浦和区高砂 3-15-1
TEL: 048-830-3221 FAX: 048-830-4782
MAIL: a3270-10@pref.saitama.lg.jp

〒330-0075 さいたま市浦和区針ヶ谷 4-2-65
TEL: 048-822-1197 FAX: 048-824-6586
MAIL: saitama-minjikyo@sunny.ocn.ne.jp

ご存知ですか？地域の身近な相談相手

民生委員・児童委員 主任児童委員



埼玉県福祉部社会福祉課

（一財）埼玉県民生委員・児童委員協議会

民生委員・児童委員、主任児童委員とは？

「民生委員・児童委員」高齢者や障害のある人、子育て中の人などで、生活に困っている人が地域で安心して暮らせるように支援しているボランティアです。
「主任児童委員」は子どもや子育てに関する支援を専門に担当します。

民生委員の役割は『地域のつなぎ役』

- 生活上のさまざまな相談にのります。
- 一緒に解決方法を考え、サポートします。
- 地域を見守ります。
- 福祉サービスの情報提供をします。
- 市役所（町村役場）、社会福祉協議会、その他関係機関につなぎます。
- その他、地域福祉の推進に協力します。

こんな時は民生委員にご相談ください

たとえば…

生活が苦しくて
困った…



一人暮らしで
何かあったら心配だな

近所の家で
もしかして虐待？

子育ての悩みを
聞いてほしいな



介護が不安で…

障害があるけど、
どんな福祉サービスがあるのかな？



もっと知りたい！

Q&A

●どんな人になるの？

住民の方で、その地域の実情をよく知り、福祉活動やボランティア活動に理解と熱意がある人です。

●どのように選ばれているの？

市町村の推薦会で選考され、県へ推薦されます。県は選ばれた方について県の社会福祉審議会に意見を聞いたのち、厚生労働大臣に推薦し、厚生労働大臣から委嘱されます。

●任期は？

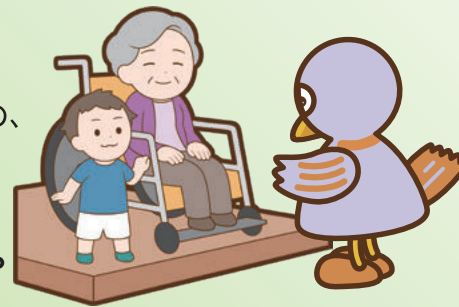
3年で再任可能です。

●相談内容が他人に知られたりしない？

相談内容の秘密を守ることが法律上義務づけられているため、秘密が漏れることはありません。安心してご相談ください。

●相談したいけど、近所の民生委員がわからない。

各市町村の福祉担当課へご連絡ください。
※相談内容によっては、他の専門機関を紹介します。



民生委員さんって具体的にどんな活動をしているの？

活動事例を紹介します



いきいきサロンの様子（鶴ヶ島市）



子育てサロンの様子（蓮田市）



訪問の様子（秩父市）



交通指導の様子（鴻巣市）



民生委員・児童委員の声

「いつもありがとう」と訪問のたびに声をかけてくれます。地域福祉の推進役として、同じ地域に暮らす住民同士として、少しは役に立っていると自負しながら見守りを行っています。すっかりおなじみになり、「頑張ってるね」との笑顔に励まされ、自分の心も豊かになります。

主任児童委員の声



児童委員活動は、地域の中で子どもや子育てに関する支援を担当し、家庭と地域、行政、学校等をつなぐ役目です。子育てサロンでは、参加親子から子育ての悩みを相談されたり、子どもの成長の喜びを共有したりする事もあります。町なかで親子から笑顔で声がけされたりすると、嬉しくてより一層のやりがいを感じます。